

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 148 号 2010. 8. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者が互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

TOREK 自然農法 農産展!

8月…ひたすら暑かったですね! 日々各地で観測史上最高気温を記録したなどと言われることもめずらしくなく、作物も猛暑や天候不順で収穫に影響しているなど報じられていました。

夏季農産展…大丈夫だろうか?と心配しましたが、さすが自然農法、影響がなかったとは言えませんが、それほどでなく、8月3日販売、15日展示と、生産者やスタッフや消費者入り混じり、汗、勉強、汗、感動、汗、味わい、汗、交流、汗の、うれしい楽しい農産展となりました。



8月3日(火) 販売

作物、加工品販売含め15店舗、平日にもかかわらずたくさんの方が買いに来られ、混雑しましたが、皆さんそれぞれお目当ての品を買えたようです。長蛇の列のカキ氷、イチゴシェイク、梅ジュースなどで暑さをしのぎ、盛況のうちにすべて完売となりました。

農産展販売の魅力は、たくさんの自然農法の作物が買えることと、あこがれの生産者、加工者とお話できること。暑すぎる会場の中、消費者は重い買い物袋をぶらさげながらも、満足気な顔をしていました。

8月15日(日) 展示

74名の方から412品の出品がありました。昨年の75名457品目と比べると残念ながら後退してしまいました。ここに酷暑や天候不順の影響が見られましたが、それだけのせいにはいけない、もっとガンバリが必要、とも思いました。しかし色とりどりの展示されている夏野菜からは、生産者のあふれる愛情を感じましたし、添えられているメッセージを読むごとに、その熱意が伝わってきました。

驚いたのは、小麦を作った人がいたことです。しかも収穫した小麦をひいて粉にして、パンまで作ったというのです。小麦の栽培自体は簡単らしいのですが、粉にするのがすごく大変だったと聞きました。



ゴボウの種部分

また種の採り方を教えてくれるコーナーがあり、ダイコンとルッコラの種を配っていました。ナスやキュウリは実を完熟させてから種をとらなければならないが、スイカやカボチャなどは食べたときの種をまいてもいいことや、種をまく前に一日ほど水につけておくと発芽しやすいことなどを教えてもらいました。種をもらい、もう次の農産展に向かって闘士を燃やしている方もいました。また、トウ立ちさせたゴボウを根っ子からまるごと展示していて、先についている種を希望者に配っていました。

私も事情あって、数年ぶりの出展になってしまいましたが、「初心者」という札がはられ、エッと思っていたところに、スタッフの方から「今回は計画性をもって作付けされるといいですね」と言われ、そうか、自家採種など考えなくてはいけないなと思い、帰って早速、ゴーヤの種を取ってみました。(編集部)

自然の畑で元気になれる!

入間市 大月須美子



7月下旬、左足の指先が赤くパンパンに腫れて、痛くなりました。以前にも同じようなことがあり、そのときは5日間くらい歩けなくなりましたが、今回はなんとか歩けていました。一週間後、入間グループの自然農園に草取りに行きました。あまりの暑さに、足の痛みも忘れ、少し熱中症のような感じになりましたが、がんばりました。私は農園に行くと、なぜかいつも鼻水が出るのですが、この日もたくさん出ました。自然農法の目に見えない土の力によって、体内の汚いものが溶かされるのでしょうか。

そして翌朝、起きてみると、足がほっそりして、赤みも消え、痛みもありません。自然の土のパワーをもらい良かったことを、実感できたように思いました。

また、入間グループには、土自然年数25年の畑と、3年目の畑があるのですが、「土にさわった感じが違う」「あたたかさが違う」など、皆何かしらふたつの畑の違いを感じるようです。

稲作交流会、足利にて開催

五三会農園係 長谷川学



8月7、8日に、栃木県足利市で稲作交流会が行われました。参加者は各地域から集まった自然農法稲作実施者で、今回は五十嵐さんの田んぼを見学しました。

五十嵐家の入り口に「無施肥無農薬野菜」の看板が掲げてあり、道行く人たちにアピールしています。約330坪、ほとんど雑草がなく、稲の花が咲く美しい田んぼは、農業の芸術のショールームかと思いました。数年前までしつこい雑草がはびこる田んぼだったと聞き、それをきれいに除草し、自然農法を普及していこうという気概に感激しました。

見学の後は、参加者それぞれの取り組みや夢について話し合いました。お話を伺って感じたことは、皆さんつらいこともあります。田んぼに愛情を持って取り組んでいるということです。またそれ故に、自然農法を広めることの大切さを常に感じられていることが素晴らしいと思いました。

2日目には、高校生約30名が見学に来て、五十嵐さんから田んぼの説明を聞き、堀さんから自然農法の素晴らしさを学んでいました。となりにある慣行農法の稲との違いを、目を輝かせて実感していました。

私たちもできることから一つずつ取り組み、先人から受け継いで努力されている生産者に感謝し、自然農法をより多くの人に広めて、次の世代にしっかり引き継いでいきたいと思いました。



お知らせ

自然農法頒布会 9月19日(日) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)

自然農法勉強会 9月28日(火) 午前部 10:30~ 午後部 19:00~ (別院講堂)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

8月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- きじま平自然農産: きじま弁当
- 長柄山自然農園: 卵
- よしたい農園: モチ米
- 市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶、みかんジュース
- 中島農園: みょうが、じゃがいも、カボチャ、ピーマン、ししとう
- ジョリフィーユ: ほうじ茶プリン、ふすまのブランガレット ほか

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>